

「みなみそうま^{きゅうじょう}九条の会」 設立20周年記念

私の戦争体験

— 80年前、南相馬市でも戦争がありました —



1945（昭和20）年8月、米軍の原町空襲で、グラマン機による銃弾痕が残る原町飛行場跡の「雲雀原神社の石柱」
＝2025年9月、大槻明生さん撮影（体験No.23参照）

2025. 12. 7
みなみそうま九条の会
（旧・はらまち九条の会）

「私の戦争体験」目次 (敬称略)

No.	氏名	タイトル	ページ
1	早坂 吉彦	国よ! 身内の精算は	1
2	鈴木丑太郎	物事を正しくとらえよう・俳句	3
3	星 千枝	銃後でも	5
4	相良 利信	北朝鮮でソ連軍と戦い、シベリアに抑留	7
5	佐々木 孝	私の八月十五日	9
6	遠藤 昌弘	ヒロシマで被爆し、「黒い雨」にうたれた	11
7	佐藤ヒロ子	戦時中の私・その走り書き	13
8	松本 道子	六十二年目の終戦の日によせて	15
9	菅野 清二	爆弾の破片を持ちながら	17
10	中野目利次	軍属として原町飛行場に勤めました	19
11	荒 功雄	五歳の思い出、三ヵ月間の疎開	21
12	佐藤 邦雄	私は国民学校最後の卒業生	23
13	金井 武	戦争のあった時代に生きて	25
14	石塚 京子	戦時中の、誇りに思う父のこと	27
15	門馬 政彦	戦時下の中国・上海	29
16	阿部 信子	動員中に郡山空襲に遭う	31
17	鈴木千代子	郡山の工場へ、動員生徒を引率	33
18	塙 満	勤労働員の作業に明け暮れた	35
19	西内 眞介	技術者めざして工業学校に入学するが	36
20	但野 博貞	「八月十五日」	38
21	山田 禎春	平和を祈念し全国を巡る	39
22	八牧美喜子	延齢草	41
23	大槻 明生	原町の戦跡の語り部として	43
24	高橋 正彦	先輩諸士の霊に捧ぐ 私も特攻要員の一人だった	45
25	鈴木 増子	日赤の従軍看護婦として、中国や南方の島へ	47

No.	氏名	タイトル	ページ
26	大槻千鶴子	焼け野原の上野駅周辺の記憶	4 9
27	布川 雄幸	戦艦「長門」の整備要員に	5 1
28	荒木 貞夫	戦争を知らない子供の、戦争後体験	5 3
29	(匿名)	広島で二次、長崎で直接被爆し、二度の被爆をした	5 5
30	(匿名)	どうせ被爆者だからと原発で働こうとしたが・・・	5 9
31	大原 尚子	苦く、哀しく、おいしかった思い出の味	6 1
32	佐藤喜代子	実むらさき	6 2
33	朝倉 悠三	絵描きとして、何か平和のための絵本を	6 3
34	西牧 敬子	激動の青春時代	6 5
35	山崎 ハル	妊婦で石神の農家へ疎開	6 7
36	羽根田ヨシ	戦時中の思い出	6 9
37	日高美奈子	郡山空襲に遭った私を、自転車で迎えに来た父の愛	7 1
38	志賀五三三	終戦の頃の原町飛行場	7 3
39	岡 実	広島軍隊で被爆 「兵隊さん、水をください」	7 7
40	荒 重富茂	孫娘へ 戦争は私の生活を大きく変えました	7 9
41	八牧 将勝	「あっ、目がつぶれた！」 父の故郷長崎で被爆	8 1
42	青田 勝彦	台湾・引き揚げ 記憶のかけら	8 5
43	菊地ミチ子	戦争と家族の絆	8 7
44	吉田 信雄	「戦争は悪だ」	8 9
45	山城 雅昭	私の戦争観	9 1
46	青田 誠之	『漫画展』の絵と全く同じ体験をした	9 3
47	木村 栄子	<満州体験>宮城開拓団として、地獄の逃避行、引き揚げ	9 5
48	野村 静子	私がつたえたいこと	1 0 1
49	栗村 和夫	手を握ったまま亡くなった校友のこと	1 0 3
50	諸井 時男	忘れない夏休み 小学6年生の夏原町が空襲された	1 0 4
51	渡部 幸一	見つけた父の「戦死公報」 父は靖国神社に合祀・・	1 0 5
52	若松 蓉子	特攻、空襲、記憶伝える 戦争の悲惨さ 教え子に	1 1 8

「みなみそうま九条の会」設立20周年記念

私の戦争体験

— 80年前、南相馬市でも戦争がありました —

発行 2025（令和7）年12月7日

発行者 **みなみそうま九条の会**（旧・はらまち九条の会）

会長：田中徳雲

事務局：すぎた和人・若松麟二・石田賢二

・志賀勝明・佐藤喜彦・勝冶美喜子・山崎健一

編集：山崎健一

みなみそうま九条の会事務局連絡用メールアドレス mail@m9jo.com

ホームページ <https://m9jo.com>